

OSHU

広報おしゅう

2023

9

ふるさともっと好きになる みんなとまちを結ぶ広報誌

Sep./vol.211

Cover Photo

新採用職員が見る
奥州市の未来

特集

だから、
奥州で





皆さんがInstagramに投稿したすてきな写真を紹介します。

1 yasunophoto さん
江刺の花火大会で撮影されたそうですよ。夏のいい思い出ですね！

2 sato_min.0301 さん
水沢駅の南部風鈴。暑い夏に涼しげな音色を届けてくれました♪

3 narutohime さん
夕日で稲穂が黄金色に。朝晩もだんだん涼しくなってきましたね！

毎月月末までに投稿いただいた写真の中から3枚を選び、翌月発行の広報誌に掲載します。
最優秀賞(一番大きいサイズで掲載)の人には、図書カード500円分をプレゼント！皆さんのすてきな投稿お待ちしております。

【応募方法】

- ①奥州市公式Instagram アカウントをフォロー
- ②[#oshufan]を付けて投稿
- ※アカウントが非公開の場合は対象外となります



Instagram アカウント
@ oshu_city

【注意事項】▷写真を複数枚投稿している場合は、1枚のみ掲載します。▷正方形(スクエア)での掲載になります。縦長・横長の写真はトリミングします。▷掲載が決定した人にはDMでご連絡します。投稿写真の元データを広報担当宛てにメールでお送りください。最優秀賞の方には住所と氏名も伺います(図書カードの送付以外の目的には使用しません)。返信いただけない場合は掲載を取りやめる場合があります。▷公に撮影可能な場所(立ち入り禁止区域ではない場所)で撮影した写真を投稿してください。▷投稿写真は応募者本人が撮影し、全ての著作権を有するものに限り、明確に人物が映っている写真を投稿する場合は、事前にその人の了承を得てください。▷本投稿の中で、肖像権や著作権などの第三者の権利侵害があった場合、奥州市は一切責任を負いません。

ホームページや各種SNSで市の情報を配信中！
右記QRコードを読み取りアクセスしてください。



奥州市ホームページ
<https://www.city.oshu.iwate.jp/>



旧Twitter
@oshu_city



フェイスブック
@oshu_city



市民生活総合支援アプリ
「ぽちっと奥州」
スマートフォンやタブレットなどで防災やごみ、くらしの情報など、市民にとって身近な情報に簡単にアクセスすることができます。ぜひご利用ください。



日時 場所 対象 料金 講師 その他
期間 内容 定員 持ち物 申し込み 問い合わせ

ラジオ

奥州エフエム放送(77.8MHz)で
市政情報を配信中!!

▶「おうしゅう伝言板」
月～金／①8時15分 ②12時42分
③17時54分

▶市長談話室「三年味噌に余念無し」
毎週月／①8時40分 ②18時5分



奥州市の人口

8月31日現在

人口	110,274人	(-97)
男	53,786人	(-56)
女	56,488人	(-41)
世帯数	46,480世帯	(+6)

※()内は先月比

広報おうしゅう
OSHU

令和5年9月号／2023 vol.211

Contents

04 【特集】だから、奥州で

14 OSHUまちdiary

16 もっと安心ずっとおうしゅう
おうしゅう羅針盤

17 奥州タイムトラベル
クイズ奥州おもしろ学
きくちゃんの方言講座

18 不安を解決！パパママQ&A
ハッピーファーストバースデー

19 ハロー！ピュアスマイル+
学生スナップVOICE

20 図書館だより
休日・夜間診療

21 ミュージアムへ行こう
健康づくりインフォメーション

22 インフォメーション

28 キラリ、輝く奥州人



1 今後の方向性を話し合うボランティアセンターの関係者。北股の未来のために何度も協議を重ねた
2 共同研究で北股の可能性を見いだした県立大の菅野道生准教授（平成30年当時）。住民を対象にしたボランティアの研修なども行われた



1 下、県立大と共同で実施した「住民のくらしと意識に関する調査」でした。
この調査は、中山間など厳しい地域環境でも安心して生活する仕組みを考えるために行われ、北股地区の住民にアンケート調査をしたところ、約90%が「5年後も同地区に住み続けたい」と回答しました。また、農作業や雪かきなど住民が手伝ってほしいこと（ニーズ・要望）と、それらを支援できるという意識（ニーズ・支援）が地域内に埋もれていることが明らかにになりました。
北股地区振興会（以下、振興会）では、調査内の「ニーズ」と「シーズ」に着目。地区内の課題解決を目指し、引き続き県立大と共に研究を進めることになりました。

地区外の力が北股を救う

平成29年、ニーズとシーズ

Encountering Kitamata's Story

Interview_1

寂れた北股に活気を与える活動を

平成18年に北股小学校が閉校した頃から、「地区が寂しくなったね」とみんなで話していました。調査結果を聞き、「このままではいけない」と感じたのを覚えています。まずはやってみようという思いで、ボランティア活動を提案しました。ですが、前例もなく、そもそもボランティア自体になじみがない人もいて、企画時

点でかなり苦労しましたね。個人宅に他人を入れることにも若干抵抗はありましたが、北股の未来を変えるために、みんなと一緒に新しい活動に挑戦してみました。

北股地区振興会長
阿部 睦雄 さん

をより明確にするため、追加調査が行われました。前回調査では地区内でニーズとシーズがかみ合うような結果でしたが、回答者が高齢化したことで、シーズ自体が大きく減少。地区全体が弱体化し、集落行事や共同作業を行うことも困難な状態になっていました。当初は地区内でニーズとシーズをマッチングさせた支え合いができると考えていましたが、それを実現することはできませんでした。
厳しい現実を突き付けられる中、振興会はある仮説を立てます。『北股地区内にあるニーズと、地区外の人のシーズをマッチングさせることが

できれば、新しい北股の輪を創ることができる。そうすれば高齢化が進んだとしても、北股に住み続けながらみんなで助け合っている地域にできるのではないか——』。
平成30年、これを実現させるため、振興会では住民の生活支援ニーズの調査と、地区外の支援者をつなぐ活動を模索。住民を交えた座談会も行われ、話し合いの結果、北股地区センター（以下、地区センター）内に困っている住民とそれを支援する人を結ぶ拠点「ボランティアセンター」を立ち上げ、両者をつなぐボランティア活動を新しく行うことが決まりました。

減少する若者中心の交流
北股地区は、衣川の北西部に位置し、奥羽山脈に隣接する自然豊かな中山間地域です。令和5年8月末時点の人口は417人で、世帯の9割が農業を営んでいます。住民間のつながりが強く、親しい関係性を築いているのが特色です。
最盛期には、若者が中心となった活動や交流で地区全体がにぎわいましたが、時代が進むにつれ、若者は進学や就職を機に地元を離れ、高齢夫婦や一人暮らしの高齢者が増加。現在は高齢化率（65歳以上）が50%を超え、だんだんと地域交流の場が少なくなっています。また、若者が中心となった活力ある活動は、ほとんど見られなくなりました。

地区の「ニーズ」と「シーズ」

北股が動き出すきっかけになったのは、平成26年に市社会福祉協議会や地域福祉の研究をしている岩手県立大学（以

特集

だから、奥州で

今年奥州市役所に入庁した青森県出身の山本一輝さん。両親は市内出身者ではありません。市内に親戚や親しい友人などがいたわけでもありません。また5年前までは奥州市を訪れたことすらありませんでした。そんな彼がなぜ奥州市で働くことを決意したのか——。それは北股地区で行われている住民と地区外の人を結びボランティア活動がきっかけでした。

協力：北股地区振興会、北股フレンズ





7北股フレンズ結成後、ワークキャンプに参加した時の記念写真。学生が両手で「北」の字をつくる「北ポーズ」を考案した

8活動開始時から発行を続けている「北股ワークキャンプ通信」。参加者や受け入れ側の声を掲載してワークキャンプへの理解を深めている。現在26号まで発行



7

北股フレンズ誕生

平成31年3月、県立大の中で新しい動きが見られました。当時は研究の一環だったこともあって、大学が参加者を募り、振興会と日程調整などを行っていました。参加した学生の中から、「また北股で活動したい」と声が挙がる一方、「研究が終わったら、この活動は途絶えてしまうのではないかと心配する意見が出ます。大学の手を借りず、学生と振興会が自立して活動できる仕組みを考えようという結論になり、その答えが「新しいサークルの立ち上げ」でした。その後、北股の活動に特化したサークル『北股フレンズ』が誕生。いろんな人たちに知ってほしいと、大学の中でも活動の輪を広げました。サークルの紹介はチラシ以外に、初年度の活動と北股の住民の表情をまとめた動画を作成しました。この動画が、後にある一人の青年の運命を大きく変えることとなります。



3



5



4

3 リンドウの選別作業をする参加者。出荷に向け農家をサポートした

4 受け入れ農家の皆さんと記念撮影

5 9月の稲刈りボランティアではホニオ(ホンニョ)作りに初挑戦

6 地元食材を使った朝食作り



6

廃校を活用した北股ワークキャンプ始動

ボランティア活動は、宿泊形式の「ワークキャンプ」で開催することが決まりました。宿泊形式にしたのは、▽泊まり込みで行うことで、北股に愛着を持ち活動することができ、▽土日開催だと参加しやすい、▽廃校でもある地区センターへの宿泊は、学生にとっては新鮮で、地域住民も喜ぶ——ことが理由でした。

初回は平成30年7月14日から二日間、地区センターを主会場に開催され、県立大の学生ら14人が参加しました。1日目には、自己紹介などのオリエンテーションを行った後、参加者はニーズを出した家庭を訪問。住民にアドバイスをもらいながら、初心者でもできる軽作業を手伝いました。終了後、参加者たちは地区センターに宿泊。2日目も別の作業を行うなど、住民と交流を深めました。

手探りで初回活動でした

が、若者を中心にした新しい北股の活動が誕生しました。ボランティアワークキャンプは9月と12月にも行われ、県立大とゆかりがある専修大学の学生も参加。初年度は、計185人が北股のために活動しました。参加者からは、「地区の皆さんと交流できる楽しいボランティア」「講義では体験できない内容で、とても刺激を受けた」「また北股を訪れて、皆さんのために活動したい」などの感想が寄せられました。また、住民からも「一緒に活動することで、若返った気持ちになった」「孫に手伝ってもらっているようで、涙が出るほどうれしかった」などたくさんの声が届きました。

県立大によると、今回のような地域団体がボランティアセンターの運営をする事例はありませんでした。振興会は、翌年度以降もニーズとシーズをつなぐ仕組み(マッチングシステム)の構築に力を注いでいきました。

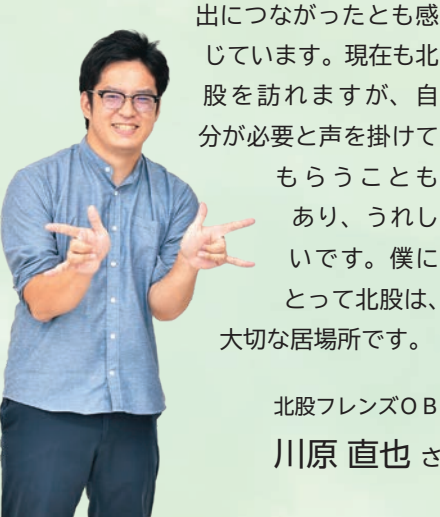
Interview_4

交流の中で新しいにぎわいが創出

県立大の大学院生時代にボランティアなどの研究をする中で、縁があって北股の活動に参加させていただきました。当初は学生の様子をうかがっている人もいましたが、回数を重ねるたびに、交流を深めている姿が見られました。また、地区で行う行事に北股フレンズの学生が参加したりすることで、新しいにぎわいの創

出につながったとも感じています。現在も北股を訪れますが、自分が必要と声を掛けてもらうこともあり、うれしいです。僕にとって北股は、大切な居場所です。

北股フレンズOB
川原 直也 さん



Interview_3

学生の力に感動 自分も元気に

初めて学生を受け入れた時、「どうなるんだろう」とイメージがしづらかったのが正直な印象でした。教えながら作業することにドキドキしていましたが、みんな真剣に取り組んでくれてうれしかったです。農業にはスキルや経験も一部必要ですが、その大半が軽作業や単純作業。マンパワーが必要なので、手伝っ

てもらったと感じています。また、学生と交流する機会も少ないので、ボランティアの参加者に手伝ってもらうたびに、私自身もパワーをもらっています。

リンドウ農家
加瀬 薫 さん



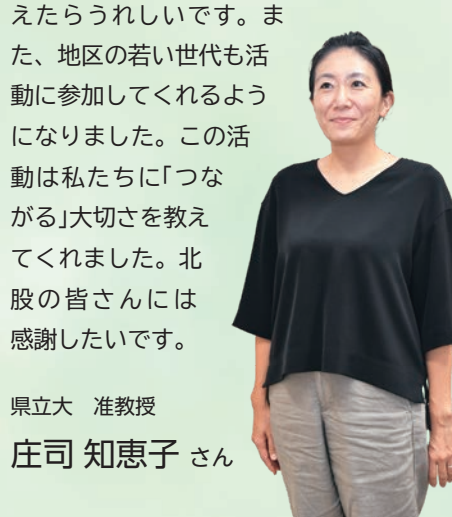
Interview_2

「つながる」大切さを改めて体感

当時同僚だった菅野先生にお声掛けいただいて以降、北股に足を運んでいます。この活動で学生たちは、人口減少社会の中での共同や協力の必要性を理解することができたと感じています。これは人口縮小社会の日本で、今後必要になる考え方です。活動で得た経験は、将来学生たちが生活するフィールドで生かしてもら

えたらうれしいです。また、地区の若い世代も活動に参加してくれるようになりました。この活動は私たちに「つながる」大切さを教えてくれました。北股の皆さんには感謝したいです。

県立大 准教授
庄司 知恵子 さん



人のために、地域のために

山本一輝さんは、平成31年に県立大へ入学しました。高校まで部活動に打ち込んでいましたが、大学では「人のために、地域のために」なる活動をしたい」と考えていました。ある日、ボランティアの講義で北股フレンズの動画を見た一輝さん。学生と住民が交流する姿に心を打たれ、4月に北股への訪問を決意します。

実際に訪れると、住民の人の柄や温かさ、地区のために活動することを得られる喜びを体感。これまでのボランティア活動の中でも、北股での活動が自分にフィットしたことから、その日に北股フレンズに加入することを決めました。

北股の音を奏でる決意

一輝さんが北股フレンズに入ったら絶対にやろうと決めていたのが、北股地区の郷土芸能・北斗国見太鼓でした。ここ数年、演奏者の高齢化や

地元が奥州市かの選択

一輝さんは大学や北股の活動をする中で、将来は地域づくりに携わりたいと考えるようになっていきます。就職を見据えた時、地元の青森県に戻るか、活動で知った奥州市で働くかとても迷いました。最終的には、地域活動に携わるきっかけをくれた北股のつながりを切つてまで、地元に戻るのもったいないと決断しました。もちろん不安もありました。土地勘もない。北股のことしか知らないのに、市職員になつていいのか——。葛藤しましたが、4年間の思いが上回り、奥州市を受験。晴れて合格し、市職員になった今も北股での活動を続けています。

- 9 北斗国見太鼓を叩く一輝さん(右)。ほかの演奏者と息を合わせて太鼓の音を轟かせた
- 10 休耕田で育てた野菜を収穫
- 11 子ども食堂開催時には、小学生たちに勉強を教える姿も
- 12 コロナ禍での山ブドウ剪定
- 13 豪雪時にはみんなで雪かき
- 14 15 今年8月のリンドウ収穫作業。猛暑日に負けず笑顔で収穫



12

て良かった」と感じたそうです。

未曾有の状況にも負けず

一輝さんは令和2年に北股フレンズの代表に就任しましたが、世間では新型コロナウイルスが猛威を振るっていました。感染防止の観点から、魅力の一つである宿泊型のワークキャンプは中断を余儀なくされます。活動再開後も、感染者が出るリスクと戦いながら、北股を訪問。感染状況の変化で、直前に取りやめになったこともありましたが、できることから活動を再開していききました。

Interview_5

共に奏でた北股の音は一生の宝物

一輝君が参加した年に披露したのが難しい演目で、直前までマンツーマンで教え込みました。手の皮がむけながらも、必死に練習してくれたことを覚えています。正直きつかったと思いますが、北斗国見太鼓と真剣に向き合ってくれているのが伝わりました。本番もあつという間に終わり、たくさんの人から拍手をもらいました。他の地区の人が一緒に太鼓を演奏してくれる——。こんなにうれしいことはありません。一緒に北股の音を奏でたことは、今でも忘れられない思い出です。

北斗国見太鼓代表
阿部 雄 さん



Interview_6

豪雪時に救援依頼 行動力に感謝

3年前の冬は、これまで体験したことのないくらいの豪雪でした。屋根からの落雪で3mも積もり、外の灯油タンクにたどり着くことができませんでした。地区センターに電話をして駆け付けてくれたのが、当時ボランティアで訪れていた一輝さんです。他の学生と地区センターの職員計5人で、1時間もかからずに庭の雪をきれいにしてくれました。寒い中、嫌な顔一つせずにきばき除雪してくれてとても助かりました。活動が縁で市職員になってくれたことを聞き、とてもうれしく思います。

ボランティア受け入れ
佐藤 憲子 さん



Interview_7

北股の経験を生かした活動に期待

ボランティア参加者と地区住民をつなぐ橋渡し役をしています。一輝君はボランティア参加当初から、率先してコミュニケーションを取り、リーダーシップを発揮している姿が印象的でした。市職員になった今も北股とのつながりを切らず活動に参加してくれて、本当に感謝しています。全国を見ても限界集落が増えている現状があります。一輝君にはこれまで北股で経験してきたことを基に、ぜひ他の地域でも「第2、第3の北股」につながるような活動に携わってほしいですね。

地域コーディネーター
菅原 工 さん





22



19



16

たくさんの人たちから 愛され続ける北股の活力は この先もずっと変わらない

全国に誇れる北股へ

住民と地区外の人と一緒に
手を取り合って北股を元気に
するこの活動は、さまざまな
分野で評価されています。

令和2年度には、地域発展
のため先進的に取り組んだこ
とから、「いわて農林水産振
興協議会・活力とうるおいに
あふれた『むらづくり』賞」を
受賞。令和4年度には、学生
との協働ボランティア活動が
高く評価され、文部科
学省の「第75回優良公民
館表彰」で優秀館を受賞
しました。この賞は全国
で5つの施設のみが受賞
できるもので、市内では
平成29年に真城地区セン
ターが受賞して以来、2
団体目の快挙となりました。

最初は手探りの状態で
始まった活動でしたが、
そのつながりは次第にた
くさんの人を動かし、全
国に誇れる北股の活動へ
と大きく成長しました。



23



20



21

- 16 市長表敬で倉成市長に優良公民館表彰優秀館受賞を報告
- 17 4月に行われた堰払い作業。春の農繁期を前に冬場に溜まった落ち葉や泥などを深い土水路からかき出す
- 18 7月に行われたブルーベリーの収穫作業。手作業で色付いた果実を摘み取る。休憩時には摘みたての味を堪能する姿も
- 19 初顔合わせでのあいさつはどちらもドキドキの瞬間
- 20 苗から育てたサツマイモを収穫した一関修紅高校の生徒たち
- 21 フィールドワークでは職員が丁寧に北股の現状を説明
- 22 活動終了後には体育館に集まり参加者全員が感想を発表
- 23 4月に撮影した記念写真。北ポーズは今も受け継がれている



17

北股に吹く新しい風

北股ボランティアワーク
キャンプの活動は、今年で6
年目を迎えました。新型コロナ
ナウイルスの影響で宿泊型で
の開催こそできていません
が、その代わりに日帰りボラ
ンティアの回数を増やすなど、
臨機応変に対応しながら取り
組みを継続しています。

本年度の参加者たちは、4
月に農作業の要となる堰払い
(水路掃除)やリンドウの芽欠
き作業に従事し、7月にはブ
ルーベリーの収穫や山ブドウ
の剪定作業などを行いました。

Interview_10

活動の広がりには驚き 感謝したい

今の時期は稲穂を見ると、「北股で稲刈りしたな」と当時をふと思い出したりします。県立大を卒業した今も北股の活動に顔を出していますが、皆さんが当時と変わらず「百花ちゃん」と声を掛けてくれて、とてもうれしいです。北股の人たちには、かなり支えてもらいました。地区に愛着もありますし、顔見知りの人も多いので、また訪れたいという気持ちが強いです。当時は活動がここまで広がるとは思っていませんでした。私たちの思いも引き継いでくれて、感謝でいっぱいです。

北股フレンズOG
後藤 百花 さん

Interview_9

新発見があるボランティア活動

北股の隣の南股出身です。学校から活動を紹介してもらい、今年初めて参加しました。7月に山ブドウの剪定とリンドウの苗植えなどを体験しましたが、北股の皆さんが優しく教えてくれたので楽しくできました。実家でリンドウを育てていますが、体験で初めて知ることも多く、毎日畑で作業するおばあちゃんを改めて尊敬しました。参加して農業への考え方も変わりましたし、少しですが地区に貢献することもできて、とてもいい経験になりました。今後も参加していきたいです。

杜陵高校1年
小形 有来 さん

Interview_8

温かい北股は「第2のふるさと」

北股フレンズは1年生の講義の中で知り、楽しそうだなと思って入りました。今は約30人が各自の予定と調整しながら、現地で交流を深めています。北股のボランティアで感じたことは、人の優しさが活力になることです。地区の皆さんは温かく、初めて訪れたときから距離が近い感じが心地よいです。自分の住む地域では、このような交流がないのでとても新鮮でした。活動で人とのつながりの大切さを改めて感じています。私にとって北股は「第2のふるさと」です。

北股フレンズ代表
及川 駿斗 さん

また、近年ボランティアの参加者に変化が起きています。当初は北股フレンズの学生たちが中心でしたが、活動が県内の高校などに広まり、興味を持った生徒が参加したり、北股フレンズの卒業生や一度参加した人が友達を連れて一緒に参加したりするなど、そのつながりは日に日に大きくなっていきます。本年度は杜陵高校の生徒3人が初参加したほか、一関修紅高校が「修紅農園」を開設しました。一般参加者も毎年増加しています。

に参加し、住民と一緒に新しい北股の輪を創ってききました。北股で生まれ育ち、このままずっと暮らしていきたいと考えている住民も、誰かのためにボランティアに参加し、活動する中で北股が好きになった人も、地区を愛する思いは変わりません。これから先も多くの人がボランティアワークキャンプに参加することで、たくさんの人から愛され、関わる人全員が元気でいられる「北股」がそこにあり続けるはずで



18

誰でも参加OK！

北股ボランティアワークキャンプ参加者募集

北股地区振興会で企画するボランティア活動は、誰でも参加できます。
初心者や1回限りの参加でも大歓迎！皆さんの参加をお待ちしています。



詳しくは振興会のホームページをご覧ください。

▲振興会ホームページ

◎12月の定例ボランティアワークキャンプ

時 12月23日(土)、24日(日)

所 北股地区センター（衣川小田212）

対 ボランティア活動に興味がある人

内 雪かき、年末の掃除や片付けの補助作業、
子ども食堂の運営補助など

他▶ 応募多数の場合は、受け付けを締め切る場合があります

▶ 会場までは、自家用車や公共交通機関などをご利用ください
(規程に基づき、実費程度の交通費を支給)

▶ 定例開催以外で住民のニーズ(要望)と、参加者のシーズ(支援)がマッチングした時は、その都度日帰りのボランティア活動を行っています。詳しくはお問い合わせください



◎休耕田を活用した「お試し農園」

地区内外から希望者を募り、遊休農地の活用と栽培技術の継承を目的に展開している取り組みです。

対 農業に関心がある人、耕作意欲がある人 **¥無料**

他▶ 農地の耕起や土手の草刈りなど、必要に応じてサポートします

▶ 希望者には栽培方法や育て方のコツなどをアドバイスします

▶ 条件により交通費を支給できる場合があります



◎共通

問 北股地区センター（☎ 52-6513、✉ kitamatacc@yahoo.co.jp）

奥州市は市民活動が活発な年代を対象にした新しい活動に挑戦してみたい

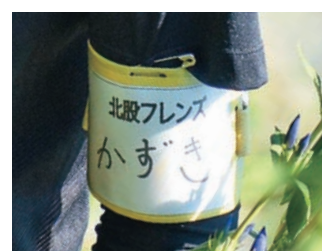


北 股での活動が縁なのかは分かりませんが、1年目から地域づくりの部署に配属され、仕事をしています。実際に働いて感じたのは、自分が思っていた以上に市民活動団体が多いことです。市内には約230団体もあり、活動内容もさまざま。たくさんの方が、地域で活動しているという印象を持ちました。昔からそのような文化や土壌が根付いているのだと思います。積極的に地域活動に関わる人が多いと感じる一方で、もっとたくさんの方が楽しく活動に参加してもらおう環境をつくることも必要とも考えています。中には、活動に興味があっても、一歩目が踏み出せない人もいます。特に、自分のような若い世代が交流に参加する場面は、あまり見たことがありません。今後の目標としては、若い人たちの巻き込んだ市民活

地域づくり推進課 主事 山本一輝さん

動の支援ができればと考えています。特に、中学生や高校生と一緒に地域活動をしてみたいのです。その経験が、一度市外に出たとしても、また奥州市に戻ってきたとき考えるきっかけになると思います。これは私がこれまで北股で活動した体験に似ているかもしれません。活動を通じて、「人のために、地域のために関わる心」を育む取り組みにチャレンジしたいです。

まだまだ知らないこともたくさんあり、窓口などで皆さんとの交流から勉強することもあります。一日でも早く奥州市のために貢献できる人材になれるよう、頑張ります。



▲活動時に着用している一輝さんの腕章。彼の地域づくりの思いはここから始まった

これまでつながった人との絆は一生の財産

「体は衰えたとしても、心はずっと若いままいたい。活動に参加する学生たちと交流する中でそう思えるようになった」。インタビュで阿部睦雄振興会長はそう語りました。

北股の活動は地区に活力を与えたほか、関わる人たちの気持ちを動かす力を秘めていました。また、山本主事のように、人生の分岐点に大きな影響を与える力も持っています。

地域や家庭、学校や職場など、日々の生活は「人とのつながり」で成り立っています。本特集を通して、改めて「地域を問わず、さまざまな人がつながること」で生まれる大きな力を実感することができました。あなたは、人とのつながりを大切にしていますか。これまで人と築いてきた「絆」は一生の財産です。市内には輝いているすてきな人がたくさんいます。そのつながりを広げましょう。だから、奥州で――。

8/20 大相撲奥州場所の土俵寄贈 子どもたちが土俵づくりに挑戦

市相撲協会(千葉栄会長)は、大相撲奥州場所で使用された土俵を前沢北こども園に寄贈しました。園児の奥州場所観戦がきっかけとなり、相撲人口拡大のために寄贈されたものです。地元の小野寺建設の協力を得ながら、年長児と保護者らが土俵づくりに挑戦。園児たちは元気いっぱい土を踏み固めていました。完成した土俵では10月に相撲大会などが開かれる予定です。



土の感触に歓声を上げる園児たち

8/22 在京いさわ会からの寄付贈呈式 古里の子どもたちを応援

7月に解散した関東在住の胆沢出身者らで組織する「在京いさわ会」は、子どもたちのために役立ててほしいと会の残金80万円相当を胆沢中学校に寄付しました。1988(昭和63)年に関東在住の旧胆沢町出身者が集まり発足した同会は、会員の高齢化や後継者難などを理由に解散を決定。寄付金は応援旗や合唱活動に使う音響機器、除雪機などの購入に充てられる予定です。



いぶき 芳賀惟舞紀生徒会長(左)に目録を手渡す亀井敬さん

8/26 いわて銀河フェスタ 2023 宇宙に触れる機会に会場沸く

「いわて銀河フェスタ 2023」が国立天文台水沢VLB観測所と奥州宇宙遊学館を会場に開かれました。4年ぶりの通常開催に、多くの家族連れらが来場。直径20mの電波望遠鏡による天体観測体験やスーパーコンピュータ「アテルイⅡ」の見学ツアーなど多彩なイベントが行われ、最先端の天文学に触れる機会に来場者たちは目を輝かせていました。



イベントで大人気だった「アテルイⅡ」の見学ツアー

8/30 「平泉の文化遺産」拡張登録の関係者会議 「ひらいずみ遺産」として推進

世界遺産「平泉」の拡張登録に関する関係者会議が平泉町で開かれました。県からは拡張登録を目指す5資産について、柳之御所遺跡を推薦することとし、それ以外の資産は将来的な拡張登録を目指して引き続き支援したいとの提案がありました。また、世界遺産「平泉」と5資産を「ひらいずみ遺産」として一体的に取り組んでいく新たな枠組みも示され、了承されました。



関係自治体の首長が参加して行われた関係者会議

8/4 自動車貸与契約書調印式 車両提供で移動手段確保を支援

自家用有償旅客運送を開始する任意団体「米里の足を守る会」とトヨタカローラ南岩手(株)による自動車貸与契約書調印式が、米里地区センターで行われました。同会は市営バスの短縮・統合の計画に伴う地区住民の交通手段確保を目的に、自家用有償旅客運送の導入を決定。10月からの運行開始に向け、同社から7人乗り乗用車と任意保険が1年間無償で提供されました。



自動車貸与契約を結んだ菊池会長(右)と高橋社長

8/5・6 カヌージャパンカップ 2023 巧みにパドルを操り激流下る

カヌージャパンカップが奥州いさわカヌー競技場で開かれました。ワイルドウォーターとスラロームの2種目に全国から75人の選手が集結。日本屈指のコースを舞台に熱い戦いを繰り広げました。ワイルドウォーターには、奥州ジュニアカヌークラブの千田太陽選手(胆沢中3年)が第一走者で初出場。地元の声援を背に勢いよく下り、約300mのコースを完漕しました。



初出場した奥州ジュニアカヌークラブの千田太陽選手

8/16・24 オーストリア姉妹都市派遣 海外の文化に触れ学び深める

姉妹都市間の青少年交換交流事業として、地元の高校生5人がオーストリアのロイテ市とブライテンバング市に派遣されました。新型コロナウイルスの影響で、高校生の派遣は5年ぶり。派遣生たちはホームステイをしながら現地の家庭料理を食べたり、城や博物館の見学をしたりしながら文化の違いを体験し、ホストファミリーらとの交流を楽しみました。



エーレンベルク城跡の観光を楽しむ派遣生ら

8/16 前沢夏まつり 夜空を彩る花火が観客を魅了

「前沢夏まつり」が前沢いきいきスポーツランドで開かれました。4年ぶりの通常開催となった今回は、開会後に前沢一輪車クラブや前沢厄年連などが出演し、会場を盛り上げました。夜には夢あかりが幻想的に揺らめき、約3千発の納涼花火が打ち上げられました。集まった大勢の観客たちは、夜空に大輪の花が咲くと大きな歓声を上げ、夏の風物詩を楽しんでいました。



前沢の夜空を彩った色鮮やかな花火

ハロー!ピュアスマイル+

菊地 涼香^{りょう か} さん
真城小学校 6年

チームメートと連携して最高の演技を

小学5年生の3月にあったバトントワリング(以下、バトン)の体験がきっかけで、6年生から学校の「バトンクラブ」に入り、本格的に競技を始めました。バトンをしている中で、振りを覚えて踊るのが一番好きです。最初はバトンを使いながら踊りを覚えるのが大変でしたが、家で何度も練習して克服しました。バトンも自分が思った高さに上げるのが難しかったですが、今は自由自在に使いこなせます。次に開かれる大会では、団体部門に出場します。個人の目標は、なるべくバトンを落とさず、元気一杯に踊ること。7人のチームメートと息を合わせて、最高の演技をしたいです。



不安を解決!

第12回

パパママ

Q & A



Q

昨年、不妊治療が保険適用になったと聞きました。医療費の自己負担額に対して、市では何か助成制度がありますか?

A

現在、一般不妊治療や特定不妊治療が保険適用となっていて、窓口での自己負担額は治療費の3割です。治療費が高額になった場合には「高額療養費制度」も適用されます。さらに市では、自己負担額に対しての助成を行っています。一般不妊治療(人工授精)は対象治療期間中(12カ月)に上限10万円まで、特定不妊治療(体外受精・顕微授精)は1回あたり上限5万円が助成されます。男性不妊治療も助成の対象です。

申請に必要な書類は、市のホームページからダウンロードできます。また、市内の産婦人科医院にも配架していますのでご覧ください。保険が適用になったことで経済的負担が減り、不妊治療が受けやすい環境が整ってきています。まずは産婦人科医院で不妊治療について相談してみてもいいでしょうか。

図本庁健康増進課(834・25224)



学生スナップ VOICE

・ 今月のお題 ・

この秋にやってみたいことを教えてください

胆沢中学校

(左から)

工藤 快利^{かい り} さん 3年
毎年秋になると食卓に並ぶので

佐藤 麻優^{ま ゆ} さん 3年
学校周辺の景色を楽しみ思い出を作る

加藤 華音^{か のん} さん 3年
OSP*では未体験なので挑戦したい



*OSP…奥州スラックラインパーク。昨年4月に胆沢若柳にオープンした県内初の同連盟公認インストラクター指導付きの野外施設



菅原 来晴^{すがわら こはる} ちゃん
令和4年9月6日生まれ
(水沢)

たくさん食べて、たくさん笑って過ごそうね！
大好き！

父・直樹さん
母・麻美さん



松本 理汰^{まつもと りた} ちゃん
令和4年9月12日生まれ
(水沢)

笑顔で人を幸せにしていね！ 大きなあれ！

父・大地さん
母・美香さん



高橋 ひより^{たかはし} ちゃん
令和4年9月12日生まれ
(水沢)

元気いっぱい！ 笑顔いっぱい！ すくすく大きくなーれ！

父・遼さん
母・ひかるさん



ハッピー★ファースト
バースデー





今月の一選

市武家住宅資料館 (☎22-5642)



「領主が住んだ水沢要害」

水沢要害(通称水沢城)は奥州街道の重要な場所として、江戸時代に水沢伊達家領主が住んだ平城である。濠を巡らせた防衛的な機能を持ち、城に準ずる城館として修築には幕府の許可を要した。

10月の企画展&イベント情報

◎市埋蔵文化財調査センター (☎22-4400) 休毎週四 ¥300円

■開館30周年記念企画展「古墳からエミシへ」 期14日土～11月26日回 所センター研修室 ¥500円

■展示解説会 時29日回13時半～ ¥無料(別途観覧料)

◎高野長英記念館(☎23-6034) 休毎週月 ¥200円

■重要文化財の公開 期3日回～11月5日回 ¥無料(別途入館料)

■学芸調査員解説会 時14日回13時半～ ¥無料(別途入館料)

◎市武家住宅資料館(☎22-5642) 休毎週月 ¥無料

■秋の企画展「殿様の住まいと家臣の役目」 期11月12日回まで 所武家住宅資料センター ¥無料

■開館30周年記念歴史講演会「仙台藩の要害制と岩手県南の近世城郭」 期郷土史研究家 菅野正道氏 時15日回14時～16時 所水沢地区センター 定60人(電話、ファクスで市武家住宅資料館へ申し込み) ¥無料

■学芸調査員による展示解説会 時1日回13時半～ 所武家住宅資料センター ¥無料

◎えさし郷土文化館(☎31-1600) 休無休 ¥400円

■企画展「ゆるっと画 -信仰と思想の民画-」 期21日土～6年1月21日回 ¥無料(別途入館料)



家族みんなで本を読む時間を作ってみませんか
毎月4日はよむ日 奥州市 家庭読書の日



市立図書館
ホームページ

【10月の休館日】水沢・江刺・前沢・胆沢=毎週月/衣川=9日祝

今月は衣川セミナーハウス図書室 (☎52-3900)

子ども映画会「盲導犬クイールの一生」

時7日回13時10分～

衣川セミナーハウス図書室では、月に一度(第1土曜日)13時10分から13時40分まで、幼児や低学年向けの「子ども映画会」を開催しています。16ミリ映写機やプロジェクターなどの機材で、まるで映画館のような臨場感のあるアニメーションを上映しています。一緒に楽しい時間を過ごしませんか。皆さんのご参加をお待ちしています。

■企画展「ハロウィン袋」 期17日回～30日回

おすすめ本の紹介

大人向け



●獣の夜
(森絵都/朝日新聞出版)

子ども向け



●おとなのたまごにいちばん
(あきやまただし/鈴木出版)

他の図書館からのお知らせ

◎水沢図書館(☎23-3372)

■企画展「伊達宗景とその妻悦子 福岡黒田家の姫だった悦子」 期25日回まで

◎江刺図書館(☎34-1078)

■企画展「知って楽しむハロウィン」 期4日回～31日回

◎前沢図書館(☎56-6781)

■資料展「『老い』の話」 期11月30日回まで

◎胆沢図書館(☎46-2133)

■企画展「ここではないどこかへ」 期11月12日回まで

健康づくりインフォメーション

早期発見が重症化を防ぐコツ 結核肺がん検診を受けましょう

肺がんとは、気管支や肺の細胞が何らかの原因でがん化したものです。症状がないことが多く、進行して初めて咳や痰、胸の痛み、発熱などの症状が出ることもあります。結核は、結核菌によって肺に炎症が起き、最初は風邪に似た症状で始まります。日本では今でも1年間に1万人以上が結核を発症しています。

どちらも早く見つけることで重症化を防ぐことができます。市では、40歳以上の人を対象に結核

肺がん検診を実施しています。初めて検診の対象になる40歳の方は、無料で受けることができます。症状がない今だからこそ、検診を受けましょう。

9月は「がん征圧月間」、9月24日～30日は「結核予防週間」です。この機会に、がんや結核について考えてみましょう。

図本庁健康増進課

(☎34-2903)、
各総合支所健康増進担当



10月の休日・夜間診療

奥州金ヶ崎休日診療所 (水沢字多賀21-1 ☎25-3935)

【診療時間】8:30～16:00 ※診療は上記の場所で行います

1日 野呂 一夫 先生 (野呂外科泌尿器科医院)
8日 阿部 佐倉 先生 (さくらクリニック)
9日 李 陽成 先生 (水沢形成外科医院)
15日 清水 朝子 先生 (レディースクリニック清水医院)
22日 有住 純也 先生 (ありすみ内科クリニック)
29日 石川 元子 先生 (石川病院)

奥州金ヶ崎夜間診療所 (水沢字多賀21-1 ☎25-3935)

【診療日】年中無休 【診療時間】18:30～21:00

※休日・夜間診療所は必ず事前に電話連絡をしてから来所ください

こども救急相談電話 (☎019-605-9000)

【診療日】年中無休 【受付時間】19:00～翌朝8:00

日曜歯科当番医

【診療時間】9:00～12:00

1日 佐々木歯科医院 ☎31-1313 (江刺西大通り)
8日 さくらかわ歯科診療所 ☎51-9030 (水沢佐倉河字東高山)
15日 箱崎歯科医院 ☎23-4070 (水沢字新小路)
22日 すずき歯科クリニック ☎31-1811 (江刺豊田町)
29日 たかはし歯科医院 ☎56-3333 (前沢字平小路)

日曜当番整骨院

【診療時間】9:00～15:00

1日 古村整骨院 ☎24-4542 (水沢字三本木)
8日 伊藤整骨院 ☎22-3851 (水沢字南大鐘)
15日 信スパイラル整骨院 ☎35-0894 (江刺南大通り)
22日 田代整骨院 ☎23-5188 (水沢太日通り)
29日 及川整骨院 ☎23-7187 (水沢大手町)

お知らせ
市ホームページが
リニューアルします

10月から市ホームページは、
情報を探しやすいをコンセプト
に、市の魅力を効果的
に発信できるデザイン
にリニューアルします。
他現在公開されている市ホーム
ページは9月末で終了します。
各ページのURLが変更される
ため、大手検索サイトへの反映
には時間がかかります。10月以
降に情報を検索する際は、新市
ホームページ内にある検索窓や
分類をご利用ください。
問本庁未来羅針盤課(☎34-2126)



お知らせ
若者相談・
居場所の開設

詳しくは市ホームページをご
覧ください。
●奥州市若者支援相談
ひきこもりなどについて、本
人や家族からの相談を受け付け
ます。
時毎週月火木金 9時～16時
所本庁こども家庭課
●ひきこもり・ニートなどの若
者の居場所「ほっと♡ひろば」
時10月3日、17日、11月7日、
21日、12月5日、19日、6年
1月16日、23日、2月6日、20日、
3月5日、19日(全て火) 13時
半～15時半
所水沢南地区センター
問本庁こども家庭課(☎34-1585)



お知らせ
子育て応援
在宅育児支援金

詳しくは市ホーム
ページをご覧ください。
対生後8週間後から満3歳未満
の第2子以降の児童を、保育所
などに入所せずに、在宅育児し
ている世帯※育児休業給付金な
どを受給している世帯を除く
※対象児童1人当たり月額1万円
申申請書に必要書類を添えて、
問い合わせ先の窓口を持参する
か郵送で申し込み
問本庁保育こども園課(☎34-
1635)



お知らせ
農業光熱動力費などを
支援します

物価高騰などの影響を受けて
いる農業者に、農業用の光熱動
力費や薬剤費の一部を
支援します。詳しくは
市ホームページをご覧
ください。
対市内の農業者、農業法人
申12月28日(金)までに申請書、
必要書類を問い合わせ先へ提出
問本庁農政課(☎34-1583)



お知らせ
行政相談週間

10月16日(金)から22日(木)に特
設の行政相談所を開設します。
問岩手行政監視行政相談セン
ター(☎019-622-3470)

お知らせ
総合支所からオンライ
ンでの相談が可能に

最寄りの総合支所から、本庁
の担当者に質問や相談しながら
手続きができる「オンライン面
談窓口」を開始します。簡単な
操作で、パソコンの画面を通し
て、本庁の担当者と顔を見なが
ら直接相談ができます。ぜひご
利用ください。
時開始日…10月2日(金)、利用時
間…平日の8時半～17時15分
所各総合支所と市健康増進プラ
ザ悠悠館内オンライン面談窓口
ブース
内①納税課…納税相談、分納誓
約、②福祉課…生活相談、生活
保護申請、③土木課…法定外公
共物の管理者確認、道路工事に
関する問い合わせ、④維持管理
課…市道損傷などの問い合わせ、
道路法第24条および第32条、一
時占用申請の事前相談
他総合支所の職員にお声掛けく
ださい。本庁舎の担当者につな
ぎます。相談内容によっては、
本庁に来庁していただく場合が
あります
問本庁行革デジタル戦略課(☎
34-2194)



●奥州市役所・水沢総合支所
☎0197-24-2111 〒023-8501 水沢大手町一丁目1
ホームページアドレス <https://www.city.oshu.iwate.jp/>
●江刺総合支所 ☎35-2111 ●前沢総合支所 ☎56-2111
●胆沢総合支所 ☎46-2111 ●衣川総合支所 ☎52-3111

時日時 期期間 所場所 内内容 対対象 定定員 料料金
持持ち物 講講師 申申し込み 他その他 問問い合わせ

お知らせ
農業用ため池
は届け出が必要

農業用ため池を所有・管理す
る人は、ため池に関する情報を
届け出る必要がありま
す。詳しくは市ホーム
ページをご覧ください。
対農業用に利用しているか利用
可能なため池
申問い合わせ先か各総合支所地
域支援グループへ届出書を提出
問本庁農地林務課(☎34-1762)



募集
介護予防・生活支援サ
ポーター養成研修

詳しくは市ホームペ
ージをご覧ください。
時10月19日(火)、24日(火)、31日
(火)(全3回) 13時～16時半(24
日のみ16時まで)
所水沢地区センター
定30人 料無料
申10月16日(金)までに問い合わ
せ先へ申し込み
問市地域包括支援センター(☎
34-2199)



お知らせ
オストメイト
社会適応訓練

時10月29日(火) 13時半～16時
所市総合福祉センター
内排泄ケアの講演(胆沢病院看
護師 菊池勝子氏)、災害時の対
策、相談会など
対胆江地区のオストメイト、家
族、医療・福祉・介護関係者
申事前に胆江地区代議員に電話
連絡し申し込み
問日本オストミー協会岩手県支
部(胆江地区代議員 佐藤・☎
090-9745-7733)

イベント
胆沢ダムフェス
2023 in 秋



詳しくは市ホームページをご
覧ください。
時10月14日(土)、15日(日) 9時～15
時半
所胆沢ダム周辺
内堤体登山体験会、湖面巡視体
験会、SUP・カヌー・ラフテ
ィング体験、物販など
問本庁政策企画課(☎34-2125)

information

インフォメーション

募集
普通救命講習会

詳しくはホームペー
ジをご覧ください。
●普通救命講習
時所10月22日・衣川分署、11
月26日・水沢消防署、12月17
日・金ヶ崎分署、6年1月14日・
水沢消防署、2月18日・胆沢
分署、3月17日・衣川分署(全
て日) 9時～正午
内心肺蘇生法、AEDの使用法、
異物除去法、止血法
対中学生以上
定各回15～25人 料無料
●応急手当普及員再講習
時所11月12日・胆沢分署、12
月10日・衣川分署(全て日)
9時～正午
対既に普及員の認定を受けてい
る人
料無料
●共通
申開催日の2日前まで
問奥州金ヶ崎行政事務組合消防
本部(☎24-7211)



広 告

広 告

各種相談日程 10月

①行政相談

会 場	開催日	時 間
本庁市民課総合相談室	13日 ^金 27日 ^金	13:00 ～ 15:00
江刺総合支所市民生活グループ	12日 ^木	9:30 ～ 11:30
前沢総合支所市民福祉グループ	12日 ^木	9:00 ～ 12:00
前沢産業まつり会場（特設）	21日 ^土	10:00 ～ 15:00
胆沢総合支所市民生活グループ	24日 ^火	13:30 ～ 15:00
衣川保健福祉センター	12日 ^木	13:30 ～ 15:30

②人権相談

会 場	開催日	時 間
本庁市民課総合相談室	5日 ^木 19日 ^木	
江刺総合支所市民生活グループ	17日 ^火	13:30 ～ 15:30
南都田地区センター	13日 ^金	
衣川保健福祉センター	12日 ^木	

③消費生活相談 各総合支所での相談は要予約

会 場	開催日	時 間
本庁市民課総合相談室	月～ ^金	9:00 ～ 17:00 (受付は16:00まで)
江刺総合支所市民生活グループ	毎週 ^月	
前沢総合支所市民福祉グループ	毎週 ^火	
胆沢総合支所市民生活グループ	毎週 ^木	10:00 ～ 15:00
衣川保健福祉センター	毎週 ^金	

④無料法律相談 要予約

会 場	開催日	時 間
本庁市民課総合相談室	11日 ^水 24日 ^火	10:00 ～ 16:00

⑤多重債務者弁護士無料相談 要予約

会 場	開催日	時 間
本庁市民課総合相談室	4日 ^水 17日 ^火	10:00 ～ 15:00

⑥くらしとお金の安心相談 要予約

会 場	開催日	時 間
本庁市民課総合相談室	18日 ^水	13:00 ～ 16:00
江刺総合支所市民生活グループ	4日 ^水	

⑦年金相談 要予約

会 場	開催日	時 間
江刺総合支所	5日 ^木	10:00 ～ 15:30

▼問い合わせ・予約先

①～⑥ 本庁市民課総合相談室（☎34-2915）

⑦ 一関年金事務所（☎0191-23-4246）

募集 自衛官等採用試験

来春採用の自衛官採用試験を実施します。

対採用種別…①陸上自衛隊高等工科学校、②自衛官候補生、**受験資格**…①15歳以上17歳未満、②18歳以上33歳未満

申①推薦…10月1日^日～12月1日^金、一般…10月1日^日～6年1月5日^金、②10月13日^金～11月1日^水

問自衛隊岩手地方協力本部一関出張所（☎0191-24-2226）

募集 地域企業×岩手大学×奥州連携フォーラム

詳しくは市ホームページをご覧ください。



時 10月25日^火 14時半（開場は14時から）

所 プラザイン水沢

内 岩手大学が支援するDX・IoTの講演、市内企業の導入事例、岩手大学地域協創教育センターの紹介など

対 ものづくり企業、関係支援機関
定 80人（その他オンライン配信による参加90人）

申 事前に市ホームページからメールで申し込み

問 本庁企業振興課企業支援室（☎34-2332、✉kigyoul@city.oshu.iwate.jp）

イベント ファミリー健康体力測定会

時 10月21日^土 13時半～15時半（受け付けは13時から）

所 水沢体育館

内 握力、上体起こしなど

対 市内在住・在勤・在学の6～79歳の人 **¥**無料

申 10月19日^木までに電話、郵送、ファクス、メールで申し込み

問 本庁生涯学習スポーツ課（江刺総合支所・☎34-2498、〒023-1192※住所記載不要、✉shousupo@city.oshu.iwate.jp）

イベント スマホでウォーキング・ランニング

詳しくはホームページをご覧ください。



時 10月1日^日～31日^火

内 ウォーキングの部、ランニングの部 **¥**無料

問 オクトーバー・ラン&ウォーク大会事務局（✉october@runners.co.jp）

お知らせ 税の納期



市県民税（3期）と国民健康保険税（4期）の納期限は10月31日^火です。納め忘れのない口座振替をご利用ください。

問 本庁納税課（☎34-2227）

お知らせ インフルエンザ予防接種費用の一部助成

●小児

時 10月1日^日～12月28日^木

対 平成29年4月2日～令和4年4月1日生まれの幼児

¥ 1回目の接種費用のうち、1,500円を助成 ※医療機関の接種費用から助成額を差し引いた額は自己負担

他 生活保護世帯の人は、1・2回目接種とも全額無料

●高齢者

時 10月1日^日～6年1月31日^火

対 ①接種当日に65歳以上の人、②接種当日に60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の病気、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害で、身体障害者手帳1級の交付を受けている人

●共通

問 本庁健康増進課（☎34-2905）、各総合支所健康増進担当

●共通

問 本庁健康増進課（☎34-2905）、各総合支所健康増進担当

イベント いさわ商工秋まつり ONEさ～くるフェスタ

時 商工秋まつり…10月28日^土10時～15時、ONEさ～くるフェスタ…10月29日^日10時～15時

所 胆沢文化創造センター

内 商工秋まつり…いさわマーケットなど、ONEさ～くるフェスタ…クラフト市、キッチンカーなど

問 奥州商工会議所胆沢支所（☎46-3131）

information

イベント 市教育振興運動の講演会



身の回りにある情報メディアについて考えてみませんか。

時 10月28日^土 10時～11時半（受け付けは9時半から）

所 江刺総合支所多目的ホール

講 青少年活動交流センター 佐藤 玲香 氏「スマホ・ネットを使う子どもたちをトラブルから守るために」

定 200人 **¥**無料

申 氏名、電話番号を電話、ファクス、メールで申し込み

問 本庁生涯学習スポーツ課（江刺総合支所・☎34-2497、✉35-7466、✉shousupo@city.oshu.iwate.jp）

募集 創業塾 in奥州



創業を予定している人、創業間もない人を対象とした初心者向けセミナーです。詳しくは市ホームページをご覧ください。

時 10月14日、21日、28日、11月11日、18日（全て^土・全5回）13時～17時

所 市民プラザ・マッセ（メイプル地下）

定 15人（先着順） **¥**無料

講 中小企業診断士 星野剛氏

申 10月10日^火までに専用フォームから申し込み

問 本庁企業振興課（☎34-2331）

お知らせ 秋の狂犬病予防集合注射



本年度未接種の犬を対象に狂犬病予防集合注射を行います。詳しくは市ホームページをご覧ください。

時 水沢…10月21日^土、江刺…10月22日^日、前沢・胆沢・衣川…10月15日^日

¥ 3,100円（注射済票交付料金含む）

問 本庁生活環境課（☎34-2340）

お知らせ NHK盛岡ラジオ「らじ推し」公開収録

ゲストに大河ドラマ『^{ぼくら}炎立つ』の原作者である高橋克彦さん、音楽担当の菅野由弘さんを招き、公開収録を行います。



時 収録…10月6日^金15時～16時20分、放送（ラジオ第1）…10月27日^金、11月24日^金12時半～55分

所 お休み処えさし藤原の郷

問 市ロケ推進室（☎34-2343）

イベント 第18回 市民芸術文化祭

時 10月15日^日 ^{ようきょくしまい}謡曲仕舞…9時半開演、日本舞踊公演…13時開演

所 市文化会館（Zホール） **¥**無料

問 市芸術文化協会（市文化会館内・☎22-6622）

広 告

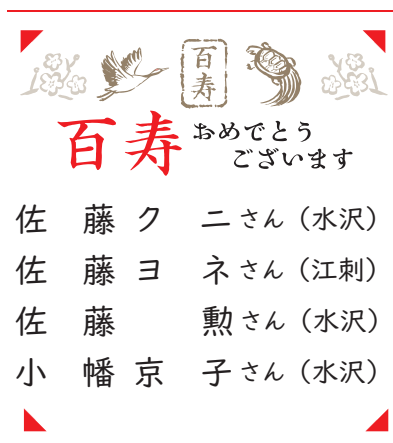
広 告

▶今回の特集では、4月の活動から密着させていただきました。協力していただいた皆さんには、この場をお借りして感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。実は山本主事と私は、2年前に北股で顔を合せていました。記事作成当初は全く気づきませんでした。雑談する中で「あ！あの時の！！」とよくあるドラマのような展開に(笑)。また大型特集だったこともあり、川原さんと高校の部活が一緒に、北股の活動を知らないであろう妻にも原稿を確認してもらいました。誤字やシンプルに読んだ感想を聞けるものだと思っていましたが、「平成26年の調査、私がやったやつだ」とまさかの返答。県立大卒は知っていましたが話し込むと、インタビューに協力いただいた庄司先生のゼミ生だったことも判明しました。「たまたま」にしてはとても出来過ぎている…。私が今回の特集を担当したのは必然だったのかもしれませんが。(高橋)

今月の一枚



鉄道フェスタでは6月に運行を終えたS L 銀河のヘッドマークも登場しました。制服姿での敬礼が決まっていますね！



佐藤 クニさん(水沢)
佐藤 ヨネさん(江刺)
佐藤 勲さん(水沢)
小幡 京子さん(水沢)

マイナカード
時間外窓口

◎時間外窓口

時 10月12日(木)、26日(木)、11月9日(木)、22日(木) 17時15分～20時

◎休日窓口(事前予約制)

時 10月28日(土)、29日(日)、11月25日(土)、26日(日) 9時～正午、13時～15時

◎共通

- 手続きには、運転免許証など本人確認書類が必要です
 - 15歳未満は、本人と法定代理人(父母)の来庁が必要です
- 所** 問 本庁市民課 (☎ 34-2223)

ハロウィンジャンボ5億円
(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)
ハロウィンジャンボミニ5,000万円
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

9月20日(水) 2種類同時発売!
発売期間 9/20(水)～10/20(金)
抽せん日 10/27(金)
公益財団法人岩手県市町村振興協会 各1枚 300円

クーちゃん

広告

◎サイエンスカフェ page. 70「半
導体とブラックホール」

時 10月15日(日) 15時～16時

講 東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)シニアスペシャリスト 田崎 文得 氏

定 20人 **¥** 300円

◎サンデースクール「Z項のな
ぞが見える～地球のふしぎ模型
を君の手で作ってみよう～」

時 10月22日(日) 14時半～15時半

対 小学生以上(低学年は保護者同伴)

定 20人(要申し込み)

¥ 200円(材料代) ※別途入館料が必要

◎全国科学館連携協議会巡回展
「星の衝突で何ができた?～月
のうさぎと私たちの地球～」

時 10月30日(日)まで 9時～16時半(毎週(木)は休館)

内 月のうさぎ模様の謎と、地球の誕生をパネル展示します

¥ 無料 ※別途入館料が必要

◎共通

所 申 問 奥州宇宙遊学館 (☎ 24-2020)

食品ロス
削減月間

◎食品ロス削減パネル展示

期 10月16日(日)～30日(日)

所 市役所本庁舎市民ホール、各総合支所正面入り口付近

◎特設フードドライブ

家庭で余っている食品を寄付しませんか?

期 10月23日(日)～27日(金)

所 市役所本庁舎市民ホール

内 受け付けする品目…穀物(米・麺)、保存食品(缶詰・瓶詰)、インスタント食品(麺・レトルト)、ベビー用品(粉ミルク・ベビーフード)などで賞味期限が3か月以上のもの

◎共通

問 本庁生活環境課 (☎ 34-2341)

10月献血日程



日付	場所
2日(日)	奥州警察署
4日(火)	サンセイ・イサワ J A岩手ふるさと本店
9日(祝)	いわて生協コープアテルイ
13日(金)	E C南部コーポレーション ダイナム水沢店

●実施時間は市ホームページでご確認ください

●全会場400mL献血のみ

問 県赤十字血液センター (☎ 019-637-7201)

人工内耳用電池を助成

障がい者の日常生活用具の給付対象に人工内耳用電池が追加されました。詳しい要件などはお問い合わせください。

内 空気電池…月額2千円まで、充電電池…年額16,800円まで、充電器…年額25,200円まで

対 人工内耳埋込手術を受けた人

申 身体障害者手帳、見積書、印鑑、人工内耳装用者カードなどを持参し問い合わせ先へ申し込み

問 本庁福祉課 (☎ 34-2325)

宝くじ助成で
防災設備を整備

宝くじが身近な事業に役立っています。宝くじ助成で防災設備を整備しませんか?整備を希望する場合はお問い合わせください。

対 市に届け出を行っている自主防災組織など

¥ 30万円～200万円

申 10月13日(金)までに申し込み

他 この事業を活用し、本年度は米里振興会自主防災会が防災用資機材の整備を行いました

問 本庁危機管理課 (☎ 34-2236)

募 集 バランスボール
エクササイズ

時 10月28日、11月4日、12月16日(全て(土)) 10時～11時半

所 江刺西体育館

定 各回12人

¥ 1回 千円

申 前日17時までに電話、ファクスか直接窓口で申し込み

問 江刺西体育館 (☎ 35-5544、FAX 35-5567)

募 集 スポーツウエルネス
吹矢教室

公認指導員がサポートします。都合のいい日のみの参加も可能です。

時 11月22日(日)までの毎週第2(火)、第4(水) 10時～正午

所 水沢体育館

対 市内在住の人

¥ 1回 300円(保険料など)

申 問 水沢体育館 (☎ 23-3841)

イベント 第38回江刺
産業まつり

時 10月28日(土)、29日(日) 9時半～15時半(29日は15時まで)

所 J A江刺本店前駐車場

内 地元農畜産物・物産の販売、餅まき、芸能まつりなど

問 江刺産業まつり実行委員会(江刺総合支所地域支援グループ内・☎ 34-1623)

広告

キラリ、輝く奥州人

主将の重責を果たし 全国ベスト8に導く

千葉 柚樹^{ゆずき}さん（18歳・花巻東高校3年）
 〓 水沢上姉体 〓



思いが詰まった高校のグラウンドでバットを構える柚樹さん。
 10月の鹿児島国体でチームメートと高校最後の大会に挑む

全国各地の強豪校が頂点を目指して熱戦を繰り広げる全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）。花巻東高校の千葉柚樹さんは、高校球児の夢の舞台でチームを10年ぶりのベスト8に導いた。「岩手から日本一」を目指す花巻東高校に憧れ、入学した柚樹さん。1年の春からベンチ入りし、秋の大会からレギュラーに定着する。2年の秋からは4番を務め、冬には新チームの主将に指名された。主将経験はなかったものの、自主練習の時間を削りながら、「自分が一番仕事をする」という意識でチームをまとめていった。

そして高校最後の夏。花巻東は4年ぶりに県大会を制し、甲子園への切符をつかんだ。しかし夏が近づくに連れ、柚樹さんは調子を崩していく。高校通算140本塁打を誇る佐々木麟太郎選手の次を打つ重圧に、結果を出せない日々が続いた。甲子園初戦を勝利し、迎えたクライク国際戦。豪雨中断を挟む接戦の中、8回裏のチャンスに打席が回ってきた。それまで大会無安打だったが、執念で決勝打を放ち勝利を決定付けた。次の智弁学園戦では、4安打3打点と猛打が爆発。ベスト8進出に大きく貢献した。

大会を振り返り「日本一にはなれなかったけれど、目指したものが形になってホッとした」と笑顔で語る柚樹さん。これまで培った経験を糧に、次のステージでも野球に打ち込んでいく。

広 告